

完成に向けて

追分中学校新校舎

平成24年4月から新校舎での授業がスタートします。
建設に当たっては「原風景としての学校空間」の基本テーマをもって①安全・安心②地域に開かれた学校③環境への配慮などのコンセプトを基に建設が行われました。



○安全・安心な施設であるために

- ・耐震性の確保
- ・防犯対策に配慮
- ・人に優しい施設



通学アプローチに面した見通しの良い職員室

○地域とのコミュニティ活動の拠点施設

地域開放ゾーンとしてのアリーナには更衣室やシャワーなどの設備のほか、多目的ホールも設置されており、それらは緊急避難ゾーンとしての用途を備えた設計となっています。

○環境に配慮した施設

自然採光や夏場の風を取り込める窓の配置。断熱性、機密性を確保した省エネルギー施設としています。

内装などには「木」などの自然素材やリサイクル可能な建築材料の活用を行いました。省エネ、ランニングコスト削減を考えオール電化施設にエコキュートシステムを導入し太陽光発電の設置も予定されています。



可動式の壁で仕切ること可能な多目的ホール

○完成に向けて

4月からの校舎の利用に向けて太陽光発電工事がこの後予定され、引越しが終わった段階で旧校舎・体育館解体工事、外構工事と24年度の工事となります。

○追分中学校の歴史と新校舎建設に至るまでの経過

追分中学校は昭和22年6月に開校。

当初は追分鉄道青年学校を借用していましたが、昭和23年に独立校舎が完成し、その後、校舎の増築並びに屋内運動場（体育館）が整備されました。

しかし、昭和43年11月22日火災に見舞われ校舎が全焼。昭和44年2月校舎再建期成会を結成し、同年11月に新校舎を落成して現在に至りますが、校舎が建設されてから40年以上経過していることから、老朽化が著しく進んでいる状況でありました。

このような状況の中、平成19年3月8日付けで安平町議会に「安平町立追分中学校大規模改修事業の促進に関する請願」が追分中学校PTA会長及び追分中学校同窓会会長より提出され、平成19年第4回安平町議会定例会において、満場一致でこの請願が採択されました。

追分中学校の校舎及び屋内運動場は、耐震補強工事では著しい老朽化に対しての根本的な解決は難しく、通学環境の保持や生徒たちに安全で快適な学習環境を早急に整備するために校舎・屋内運動場の建設工事を行いました。

工事名：安平町立追分中学校校舎建築工事
(建築主体・電気設備・機械設備)

工事内容：鉄筋コンクリート2階建
延べ床面積2,175.58㎡

工事費：498,225千円

工期：平成24年1月31日まで

施工業者

建築主体：森本・八木経常建設共同企業体
電気設備：オリオン・福田経常建設共同企業体
機械設備：八木環境ホクシン経常建設共同企業体

工事名：安平町立追分中学校屋内運動場建築工事
(建築主体・電気設備・機械設備)

工事内容：鉄骨造2階建
1,366.01㎡(渡り廊下含む)

工事費：268,485千円

工期：平成24年2月29日まで

施工業者

建築主体：三井住友建設株式会社北海道支店
電気設備：オリオン・福田経常建設共同企業体
機械設備：株式会社森本組